会　議　記　録

No.　　1

種類 会議	令和 3 年 12 月 4 日	証　印	出席者　相談セ山崎氏・野澤委員長 田中ま委員・田中は委員・小野田委員・松倉委員 鈴木委員・山口・佐藤・澤田・市川・玉川	作　成 玉川

1.議題　　令和 3 年度　　第　5　回　　みその運営推進会議

午後 4 時 00 分　開　会

I.　野澤委員長よりご挨拶

新型コロナウイルス感染症の新しい株（オミクロン株）が流行りだすようで、第六波が懸念されている。個人個人が気を付けて生活し、大きな波にならないようにしたい。

II.　グループホーム報告

1）　年齢構成及び要介護度、介護状況など

①　平均年齢 89.1 歳　（76 歳～98 歳）　男性が一人入居されている。

②　平均介護度が 2.6　変化はない。

③　介護の状態は、11 月に二人入居された方たちのおかげで、自立の度合いが上がっている。

④　10/26,11/1 と二人ご逝去されている。最後まで関わらせていただき、看取り介護を行った。

2）　研修・会議

①　資料のように行った。

3）　デイサービスの利用状況報告など

①　10 月・11 月ともに 6 名の方と契約し、利用していただいた。

②　ただ、11/6 に当グループホームへと入居さてたため、その段階で契約者数は減少。

4）　活動報告（写真及び口頭にて）

①　「みその作品展」　･･･ 久しぶりの外出行事となった。

②　「誕生日会」　･･･ 嚥下機能の落ちた方をお祝いするため、プリンやババロアのケーキを準備し、お祝いした。

③　「森のカフェ」　･･･ 二胡・オカリナの演奏会だった。入居者様に接客していただいた。

④　「金沢町内会防災訓練」　･･･ 入居者様 3 名と職員 2 名で参加させていただいた。

⑤　「チキンラーメン」･･･ 他部署の企画に乗じて実施。普段、このようなジャンクフードを食べる機会はなくなっている。お皿を蓋代わりにして作ってみた。なかなか好評だった。

⑥　「散歩・体操」　… みその近辺を散歩して季節の移り変わりを楽しんだりしている。

⑦　「家事支援」　… みその通信をご家族様に発送するために、通信紙を三つ折りにする作業を一緒に行っていただいている。指先の運動になっている。

5）　事故報告より

①　「15」　普段、シルバーカーを使ってみえるが、職員の付き添いが必要な方。滑ってしまい支え切ることができず転倒。左大腿骨頚部骨折で手術を受けた。歩行時に支えていた部位は適切だったのかを検討。ご本人も高揚状態にあったため、歩行に集中して見えなかったことも遠因ではないか、と話し合っている。

6）　質疑応答

特になかった。

III.　小規模多機能報告

1）　登録者情報・利用状況

①　10 月は入院されてみえる方がお二人いらっしゃり、ご逝去された方が 1 名いらっしゃった。

②　11 月は利用者に変化はなかった。

③　契約者数に余裕はあるものの、毎日利用される方が数名いらっしゃるため、一日 15 名の枠がいっぱいになっていることが増えている。

2） 職員会議・研修について

① 「感染症対策」は新型コロナウイルス感染症に限ったことではなく、インフルエンザなども含め、緊急時の対応について改めて確認する研修を行った。

② 「認知症ケアの基礎力養成」は介護系の雑誌に掲載されていた問題をもとに対応を検討する研修を行い、常の介護について再度見直してみた。

③ 職員会議も毎月行っている。

3） 日常の様子

① 「ある日のゲーム」ピンポン玉を移動させるゲーム。その方の能力に合わせ、箸とお玉を使って競っていただいた。

② 「びっくり栗きんとん？」芋きんとんで甘栗を包み込み、栗の形に整えてそこに黒ゴマをまぶした。楽しんでいただけた様子だった。

③ 「ご対面」育児休暇中の職員が赤ちゃんを連れてきてくださった。皆さんとても喜んでみえた。

④ 「ハロウィン」かぼちゃの顔で福笑いを実施。この方は職員が一緒に行うことでゲームに参加することができている。

⑤ 「フルーツどら焼き」記事を焼いていただくところから皆さんに参加していただき、フルーツもご自分で選んでいただいた。

4） 事故報告

① 「17・18」　同じ方に起きた事故。立ち上がりが不安定な方なのだが自覚がないため、転倒につながりやすい。今後も留意していきたい。

5） 質疑応答

特になかった。

IV. 特養報告

1） 年齢構成及び要介護度、介護状況など

① 現在 78～103 歳までの入居者様が利用中。平均年齢 90.2 歳と上がっているのは、入居者の入れ替わりがあったため。

② また、一週間前にご逝去された方がいらっしゃるため、現在 28 名となっている。

③ 要介護度は平均 4.03。

2） 研修・会議など

① 「夜間想定避難訓練」や勤怠に火災が起こったという設定で実施。スタッフは夜勤帯の職員数 3 名で、すべての入居者様が寝ている状況から、「起こして」「車いすに移乗して」「安全な場所へ避難させる」ということを行った。

② 「身体拘束廃止委員会」3 か月に 1 回開催。「身体拘束」を行っていないか、もし行っているのであればどのような対策を実施することで行わずに済むことができるのかを検討している。

③ 「離設者捜索訓練」年に 1 回実施。みそののサービス利用者が離設してしまった場合にどのように捜索するのかを検討するために実施。

3） 活動報告

① 「イチョウ」大和の大イチョウはまだ色づいてなかったが、特養駐車場のイチョウは色づき楽しませていただいた。

② 「秋の収穫祭」ユニット単位でご飯を炊き、「潰して」「型に入れて」という作業を「自分の分は自分で」行っていただいた。中には「食べたくて仕方なく」焼く前にかぶりついた方もいらっしゃった。

③ 「ばりばり祭り」施設に入居してしまうと即席めんや炭酸水などを食べる機会はなくなってしまう。そのために企画。入居者様によっては刻み食などを召し上がっている方もいらっしゃるが、袋の中で麺を細かくすることができるため、どの方にも食べていただくことができた。入居者様にも好評だった。

④ 「お菓子作り」包丁を持つこともなくなってしまっているが、持っていただくとやはりとてもお上手に使いこなしてみえる。

⑤ 「訪問理美容」月に 2 回来ていただき、ご希望される方を順にやっていただいている。髭をあたっていただけるため「毎月やりたい」と希望される方もいらっしゃる。

4)　　事故報告

①　「19」　トイレと車いす間の移乗時に職員の名札やボタンが当たったのではないか、という推測がたった。リフトによる移乗に切り替えた。

②　「25」　内服介助を見落としてしまったが、その結果から「眠剤はいらないのかも」という話が出てきており、ご家族と検討している。

③　「26」　大きな事故になってはいないが、なりかねないものであり、その場を離れるときにはきちんと確認をするように徹底した。

V.　定期巡回訪問サービス報告

1）　利用状況など

①　現在、11 名の方にサービスを提供している。

②　介護度の平均は 2.4。

③　中には寝たきりで、ターミナル（看取り期）でのサービスを提供することもある。

④　ケアハウス入居者 4 名にもサービスを提供。

⑤　遠い方だと豊橋の牛川町（車で 25 分程度）まで出かけている。

⑥　訪問回数としては一人一日 4～5 回訪問。2～3 回の人から 8 回ほど訪問させていただく方までいる。だんだんと増えている。

⑦　支援内容としては「室温調節や安否確認」はほぼ全員の方に提供。一人で生活していらっしゃる方や、認知症で服薬管理ができない方に服薬介助に伺うことが多い。

2）　ご利用例

日中独居に近い寝たきりで視力低下されてみえる要介護 5 の男性。支援開始後、ご本人の奥様が名古屋市内で手術を受ける必要が生じ、主介護者である娘さんがその対応をしなければならなくなった際に、連絡をいただいたことで普段の支援に加え、夕食の介助や夜間の訪問、朝食の介助などを組み入れて提供し、ご本人様が安心して自宅で過ごすことができた。

3）　事故報告

サービス提供時、公用車で訪問させていただいているが、駐車場を間違えてしまい、一回注意されたものの同じ場所に止めてしまい、再度注意されてしまった。連絡ノートを活用し、伝達ミスがないようにした。

4）　質疑応答

訪問支援を受ける際に、家族がいることが必要か … ご家族が留守でも構わない。

VI.　東部包括支援センターより

①　オミクロン株について、豊川市内ではまだ少ないが、予断を許さない状況ではある。

②　地域での活動（サロンや老人会）などは、情報が集まっている「いかまい館」のコミュニテイーソーシャルワーカーに問い合わせていただくとよいと思う。

③　後方にも、認知症サポータ養成講座などの情報もあるので参照して欲しい。

VII. 質疑応答など

以上にて 16：30 に閉会。

次回は、令和 4 年 2 月 5 日（土）16:00 から開催